

企画展

# 「本池秀夫 革の世界」展

2010年7月16日(金)  
— 8月30日(月)

島根県立石見美術館

(島根県芸術文化センター「グラントワ」内)

【主催】島根県立石見美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会、日本海テレビジョン放送株式会社

【協賛】ライオン、清水建設、大日本印刷

【休館日】毎週火曜日(ただし8月10日は開館)

【開館時間】10:00～18:30(入館は18:00まで)

【観覧料】

【企画展】一般1,000(800)円、大学600(450)円、小中高生300(250)円

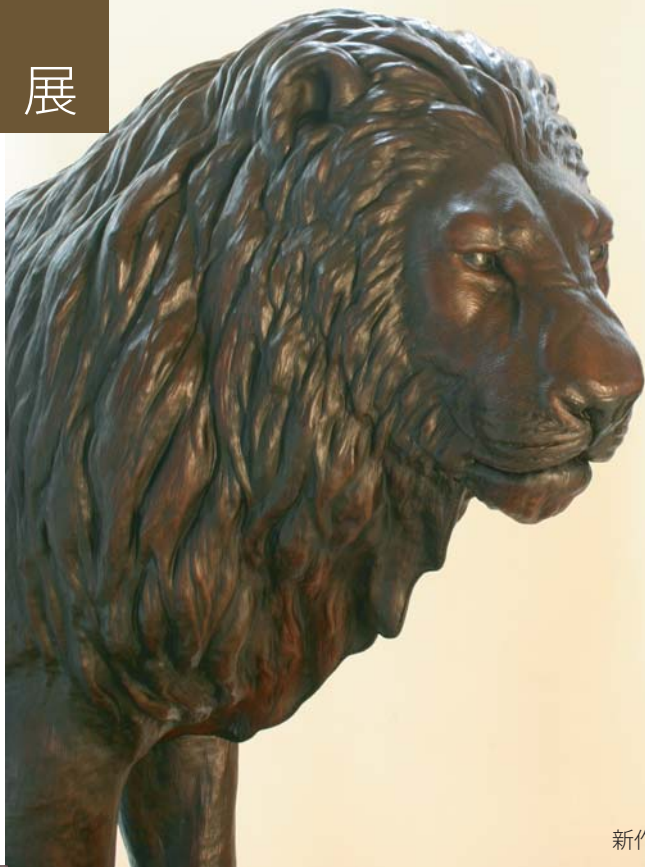
【企画・コレクション展セット】一般1,150(920)円、大学生700(530)円、小中高生300(250)円

※( )内は、20名以上の団体料金

【前売り券】

【企画・コレクション展セット】一般900円

下 登校中(部分) 1995年 個人蔵  
右 オスライオン 2010年 作家蔵  
右下 考える猿 2007年 作家蔵

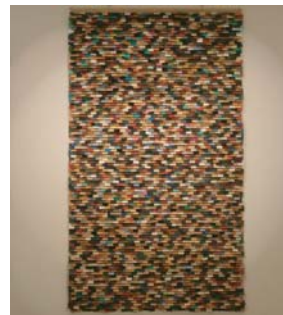


新作

## 〔展覧会概要〕

米子を拠点に、革を素材とした創作活動を続けている本池秀夫。大学在学中ヨーロッパに渡り、ローマの骨董屋で出会った古い陶磁器の人形に感銘を受けたことをきっかけに「革の人形」づくりを開始しました。その後「革の動物」、「タペストリー」など創作の幅を広げながら約40年間、革と向き合っています。

本展は、新作を含む約70点の作品を通じ、本池の作品世界を概観する試みです。



左奥 アフリカゾウ 2008年 作家蔵  
ゾウ 1995年 作家蔵  
左 MEMORY HAPPINESS(幸せ) 1995年 個人蔵  
中 カバ 2002年 作家蔵  
下 ジャズカルテット 1994年 作家蔵



## 〔みどころ〕

### ・革の人形

老人と子どもの何気ない日常を再現した、小さな革人形。革で出来た人形は、他に例を見ない。素材の表情を活かした、柔らかさとあたたかみのある作風が特徴。その世界観は、イタリアの磁器人形作家ジュゼッペ・カッペの緻密さと、ノーマン・ロックウェルのノスタルジックさの両立を目指している。

本展では新たに制作された「ピエロ・シリーズ」も初公開する。

### ・革の動物

6mのキリン、4mのゾウをはじめとする実物大の動物。作品のもつ強いリアリティとダイナミックさが、かえって動物たち本来の素朴な愛らしさを生んでいる。子供たちも親しみやすい作品。新作のライオンを含む約30点を展示する。

### ・革絵/タペストリー/人体

革に直接描くことで独特の表情を獲得した革絵。

過去の仕事で残った3000種以上のちいさな革の破片を繋いだタペストリー。本池の仕事の軌跡を象徴する作品。

人形、等身大の動物を経て、たどり着いた肉体としての人の表現。人の営みから人のかたちへ、本池の新たな視点を確認できる作品。

## 〔イベント予定〕

- 作家本人の指導によるレザー・クラフトのワークショップ
- 作家本人による作品解説(ギャラリー・トーク) など

【問合せ】 〒698-0022 島根県益田市有明町5-15  
島根県芸術文化センター「グラントワ」内 島根県立石見美術館  
担当：志田尾(広報)、廣田(学芸)  
TEL0856-31-1860/FAX0856-31-1884 <http://www.grandtoit.jp>

